

タイトル ASTによる農家支援の取組み JA名 JA新ふくしま(福島県)

1 動機 (経緯)	・農家組合員の相談窓口役として設置した農家支援チーム「AST」(Agriculture・Support・Total Team)が、イチゴ高設栽培を開始するにあたり不安を抱えていた担い手農家の相談を受けて、ハウスの施工方法や農業資金の調達について対応し、新規事業の立ち上げを支援したものです。
2 概要	・農家支援チーム「AST」は営農部農業振興対策室の5名で構成し、徹底した訪問活動を基本に管内の担い手農家の悩みや要望などを聞き取り、その解決策を立案・実践することを目標に、20年3月に活動を開始しました。 ・平成20年3月～10月にかけて、桃やりんごなどを栽培する管内の担い手農家から新たに補助事業を活用してイチゴ高設栽培を始めるにあたって、補助残部分の資金調達について相談されたのを受けて、ASTと融資担当者が連携してJA農機ハウスローンにより資金を対応しました。また、暖房装置にかかる燃油代の節約について相談を受けたため、薪による暖房装置を提案するなど担い手農家要望に沿って対応した結果、ウォーターカーテン方式を導入するなど、新規事業の立ち上げを支援しました。
3 成果 (効果)	・日常の訪問・相談活動を通して、担い手農家の新規事業に対する不安を取り除き、農業経営の発展に貢献することができたのに加え、これまではJAとの取引が少なかった担い手農家との住宅ローン等の取引の拡大や信頼関係の再構築につながりました。
4 今後の 予定(課題)	・現在は担い手農家を重点に訪問活動を実施していることもあり、一般の農家組合員にはASTの活動がまだまだ理解されていません。広報誌等による一般農家組合員に対する活動内容の報告や新たな訪問先の選定が課題となっています。

(完成したイチゴ高設ハウス)

